

カメ目 ヌマガメ科
アカミミガメ属

アカミミガメ



提供：環境省

日本固有のカメのエサや日光浴・繁殖の場所をうばって、減らしてしまう。

人体 ★★★★★ 生態系 ★★★★★ 農業 ★★★★★

発行／群馬県自然環境課 (2026.3)

げん さん ち
原産地

北米～中米

とく ちよう
特徴

体長約20～28cm。
甲らは緑色っぽい茶色で、目の後ろに赤いラインがある。
過去に幼体が「ミドリガメ」の通称でペットとして輸入された。

せい たい
生態


雑食性で、水草や藻などの植物、魚類、エビやカニ、水生昆虫などの動物も食べる。
日本固有のカメ(ニホンイシガメ)よりもたくさん卵を産み、一年に何回も産卵する。

せいそく
主な生息場所

池、河川、用水路、水田

発見したときの対処法

「自分で飼う意思」がない限り、拾ったり、移動させたりせず、そのままそとしておく。



人体 ★★★★★ 生態系 ★★★★★ 農業 ★★★★★

発行／群馬県自然環境課 (2026.3)

エビ目 アメリカザリガニ科
アメリカザリガニ属

アメリカザリガニ



提供：環境省

水草や水生昆虫、オタマジャクシ、魚類などを食べて、減らしてしまう。

人体 ★★★★★ 生態系 ★★★★★ 農業 ★★★★★

発行／群馬県自然環境課 (2026.3)

げん さん ち
原産地

北米

とく ちよう
特徴

体長約10～15cm。
体全体が赤から赤茶色。
ウシガエルなどのエサとして持ち込まれた。

せい たい
生態


温暖な時期に産卵する個体が多い。1回の産卵で抱く卵の数は200～1,000個。

せいそく
主な生息場所

河川、湖沼、池、用水路、水田、ため池など

発見したときの対処法

「自分で飼う意思」がない限り、拾ったり、移動させたりせず、そのままそとしておく。



人体 ★★★★★ 生態系 ★★★★★ 農業 ★★★★★

発行／群馬県自然環境課 (2026.3)

食肉目 アライグマ科
アライグマ属

アライグマ



提供：環境省

農作物を食べる。家に侵入して物を壊したり、フンや尿をする。

人体 ★★★★★ 生態系 ★★★★★ 農業 ★★★★★

発行／群馬県自然環境課 (2026.3)

げん さん ち
原産地

北米～中米

とく ちよう
特徴

体長約40～60cm。
体は茶褐色、尻尾には黒い帯状の模様がある。

せい たい
生態


年1回繁殖。
出産期は4～6月で、1回に3～6頭を出産。
一般的に夜行性。冬眠はしない。

せいそく
主な生息場所

都市部から森林・湿地帯までの水辺
木のうろや岩穴、人家や畜舎を巣とする。

発見したときの対処法

市役所・町村役場に連絡する。



人体 ★★★★★ 生態系 ★★★★★ 農業 ★★★★★

発行／群馬県自然環境課 (2026.3)

キク目 キク科
ハルシャギク属

オオキンケイギク



提供：環境省

日本固有の植物のすみかを奪い、その植物を餌にしていた動物もいなくなる。

人体 ★★★★★ 生態系 ★★★★★ 農業 ★★★★★

発行／群馬県自然環境課 (2026.3)

げん さん ち
原産地

北米

とく ちよう
特徴


5～7月にかけて黄色いコスモスに似た花を咲かせる。
キク科の多年生草本。
高さは30～70cm程度。
非常に強靱で繁殖力が強い。

せいそく
主な生息場所

道端、河川敷、線路際など日当たりの良い場所

発見したときの対処法

根から引き抜き、その場でビニール袋に入れて密閉し、数日間天日にさらして枯らしたあと、可燃ごみとして処分する。



人体 ★★★★★ 生態系 ★★★★★ 農業 ★★★★★

発行／群馬県自然環境課 (2026.3)

キク目 キク科
オオハンゴンソウ属

オオハンゴンソウ



提供：環境省

日本固有の植物のすみかを奪い、その植物を餌にしていた動物もいなくなる。

人体 ★★★★★ 生態系 ★★★★★ 農業 ★★★★★

げん さん ち
原産地

北米

とく ちよう
特徴


キク科の多年生草本。
高さ1~3m、花は6~10cm程度。
7~10月頃に花を咲かせる。
種子が多く生育も早いので、大群落を形成する。

せいそく
主な生息場所

あちばた ありち ばたき かんじき しつち
道端、荒地、畑地、河川敷、湿地

たいしよほう
発見したときの対処法

根から引き抜き、その場でビニール袋に入れて密閉し、数日間天日にさらして枯らしたあと、可燃ごみとして処分する。



発行／群馬県自然環境課 (2026.3)

ナデシコ目 ヒユ科
ツルノゲイトウ属

ナガエツルノゲイトウ



提供：環境省

日本固有の植物のすみかを奪ったり、成長を邪魔したりする。また、水路をふさいで洪水をおこす。

人体 ★★★★★ 生態系 ★★★★★ 農業 ★★★★★

げん さん ち
原産地

南米

とく ちよう
特徴

水草であるが、陸地でも生息可能。
4~10月に花を咲かせる。
茎はちぎれやすく、わずか数cmの茎や断片から再生する。

せいそく
主な生息場所

水辺、陸域全般

たいしよほう
発見したときの対処法

陸地では除草剤で枯らせる。
農業が使えない場所では、人力で引き抜き、密閉して枯らしたあと、可燃ごみとして処分する。
なお、刈り払い機での除草は行わない。



発行／群馬県自然環境課 (2026.3)

クモ目 ヒメグモ科
ゴケグモ属

セアカゴケグモ



提供：環境省

かまれると痛みや吐き気などをおこす。

人体 ★★★★★ 生態系 ★★★★★ 農業 ★★★★★

げん さん ち
原産地

オーストラリア

とく ちよう
特徴

メス：体長10~15mm。腹部背面には赤色の帯状の模様があり、毒を持っている。
オス：体長3~6mm。毒はない。

せい たい
生態


6~10月頃に繁殖期だが、一年中出現。
基本的におとなしく攻撃的ではない。
驚かされると死んだふりをする。

せいそく
主な生息場所

日当たりがよく暖かい所
適当なすき間がある所(側溝の側面やふたの裏側、花壇周りのすき間、墓地の花立てや緑香立てのすき間など)

たいしよほう
発見したときの対処法

虫はくつで踏みつぶすか、市販の殺虫剤で駆除する。卵は燃やすか、くつで踏みつぶす。糞は棒などで払う。



発行／群馬県自然環境課 (2026.3)

コウチュウ目 カミキリムシ科
ゴマダラカミキリ属

ツヤハダゴマダラカミキリ



提供：環境省

幼虫が木の中を食い荒らし、やがて木は弱って死んでしまう。

人体 ★★★★★ 生態系 ★★★★★ 農業 ★★★★★

げん さん ち
原産地

中国、朝鮮半島北部

とく ちよう
特徴

体長は17~40mm。触角は長く、黒色とうすい青色のシマ模様をしている。背面はなめらかで、白色のまだら模様がある。
※日本のゴマダラカミキリは背面にボツボツがある。

せい たい
生態


成虫は5月下旬~10月に出現。
幼虫は生きている木に寄生し、中を食い荒らす。

せいそく
主な生息場所

カエデ、トチノキ、ヤナギ、ニレ等の樹木

たいしよほう
発見したときの対処法

くつで踏みつぶすなどして、その場で駆除する。



発行／群馬県自然環境課 (2026.3)

コウチュウ目 カミキリムシ科
ジャコウカミキリ属

クビアカツヤカミキリ



幼虫が木の中を食い荒らし、やがて木は弱って死んでしまう。サクラの被害が進むとお花見ができなくなることも。

人体☆☆☆ 生態系☆☆☆ 農業☆☆☆

げん さん ち
原産地

中国、台湾、朝鮮半島、ベトナム

とく ちよう
特徴

体長20~40mm。胸部(クビ)が赤色で体全体はツヤのある黒色。

せい たい
生態


幼虫は木の中で2~3年かけて成長し、6~8月頃に成虫となって木から出てくる。
一匹のメスが幹や枝の樹皮に1,000個以上産卵した例があるなど、繁殖力が強い。

せいそく
主な生息場所

サクラ、ウメ、モモ等のバラ科樹木の樹皮

たいしよほう
発見したときの対処法

くつで踏みつぶすなどして、その場で駆除する。



発行 / 群馬県自然環境課 (2026.3)

ハチ目 アリ科
トフシアリ属

ヒアリ



提供：環境省

刺されると強い痛みがある。日本の在来アリの追い出したり、小動物を食べて減らしてしまう可能性がある。

人体☆☆☆ 生態系☆☆☆ 農業☆☆☆



げん さん ち
原産地

南米中部

とく ちよう
特徴

からだはツツツで赤茶色。腹部はやや暗めの色。
お尻に毒針があり、人や動物を刺す。

せい たい
生態


土で直径25~60cm、高さ15~50cmのドーム状のアリ塚を作る。中には女王アリと数千から数十万匹の働きアリが集団で生活する。

せいそく
主な生息場所

草地や畑地、水辺など比較的開けた環境
※群馬県では生息未確認

たいしよほう
発見したときの対処法

殺虫剤等で駆除のうえ、環境省ヒアリ相談ダイヤルか市役所・町村役場に連絡する。
ヒアリ相談ダイヤル☎0570-046-110



発行 / 群馬県自然環境課 (2026.3)